



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社
 コード番号 9059 URL <http://www.kanda-web.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝又 一俊
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 原島 藤壽 TEL 03-6327-1811
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,246	8.3	904	28.9	878	32.0	494	59.9
26年3月期第3四半期	24,240	17.4	701	△28.8	665	△29.3	308	△40.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 538百万円 (90.5%) 26年3月期第3四半期 282百万円 (△46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	45.91	—
26年3月期第3四半期	28.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	39,176	13,196	33.3
26年3月期	36,959	12,766	34.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,058百万円 26年3月期 12,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
27年3月期	—	6.00	—		
27年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	5.8	1,350	45.4	1,300	47.5	650	42.5	60.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	11,654,360株	26年3月期	11,654,360株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	891,293株	26年3月期	891,293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	10,763,067株	26年3月期3Q	10,763,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策等により、企業収益の改善や雇用に回復の兆しが見られたものの、消費税増税後の消費の落込みや原材料価格の高騰等に加え、新興国経済の減速等もあり、景気の先行きについては引き続き不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましては、消費税増税の駆け込み需要の反動もあり、取扱量は減少しております。また、燃料価格が下落しつつも、ドライバー等人手不足の影響によるコスト上昇など、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、国内部門においては、主力業務であります物流センター業務代行、流通加工業務に注力し、新規顧客の獲得に向け努力してまいりました。また、全ての不採算の営業所等を黒字化すべく「業績改善運動」を全社的に取り組んでまいりました。また、平成26年8月1日には、企業の社会的責任の一環として、障害者の方々に雇用機会を提供するとともに、その能力を十分に発揮して頂きながら、安心して就労できる職場環境を確保していくことを目的として「カンダハーティーサービス株式会社」を設立いたしました。

国際部門においては、平成26年4月1日に株式会社ペガサスグローバルエクスプレスと株式会社ペガサスカーゴサービスを合併し、新たに株式会社ペガサスグローバルエクスプレスとしました。また、平成26年4月2日には、名古屋市の拠点を置いて国際海上貨物の輸出業を行っているニュースターライン株式会社とその子会社ベルトランス株式会社を子会社化致しました。これにより、株式会社ペガサスグローバルエクスプレス及びニュースターライン株式会社を核として国際物流事業の取組みに注力致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、平成25年8月に業務を開始した久喜物流センター及び同時期に順次稼働した太陽光発電事業に加え、平成26年4月に子会社化したニュースターライン株式会社とベルトランス株式会社の業績がフルに寄与したこと等により連結営業収益は、262億46百万円（前年同四半期比8.3%増）となり、連結営業利益は、9億4百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。連結経常利益は、8億78百万円（前年同四半期比32.0%増）となり、連結四半期純利益は4億94百万円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、113億19百万円（前連結会計年度末は90億92百万円）となり、22億26百万円増加しました。現金及び預金の増加13億64百万円、受託現金の増加5億60百万円、受取手形及び営業未収金の増加3億18百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、278億57百万円（前連結会計年度末は278億66百万円）となり、9百万円減少しました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、175億95百万円（前連結会計年度末は153億42百万円）となり、22億53百万円増加しました。支払手形及び営業未払金の増加91百万円、短期借入金の増加13億26百万円、受託現金の増加等に伴う預り金の増加5億93百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、83億84百万円（前連結会計年度末は88億50百万円）となり、4億65百万円減少しました。長期借入金の減少3億56百万円、退職給付に係る負債の減少75百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は131億96百万円（前連結会計年度末は127億66百万円）となり、4億29百万円増加しました。利益剰余金が3億90百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は0.9ポイント下降し、33.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しており、前回発表（平成26年5月14日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社に該当いたしません。

（連結の範囲の変更）

第1四半期連結会計期間より、当社グループが、ニュースターライン株式会社の全株式を取得し、その子会社であるベルトランス株式会社共に子会社化したため連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、新たにカンダハーティサービス株式会社を設立したため連結の範囲に含めております

第1四半期連結会計期間において、株式会社ペガサスカーゴサービスは、株式会社ペガサスグローバルエクスプレスを存続会社とした吸収合併により消滅しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ケイ・トランスポートは、カンダ物流株式会社を存続会社とした吸収合併により消滅しております。

これにより、当社の連結子会社の数は23社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が90,451千円減少し、利益剰余金が57,855千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,568,051	2,932,766
受託現金	2,895,435	3,455,692
受取手形及び営業未収金	3,989,028	4,307,160
商品	169,967	62,069
貯蔵品	22,412	19,881
その他	455,841	547,617
貸倒引当金	△7,824	△5,956
流動資産合計	9,092,913	11,319,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,795,465	8,451,655
土地	14,560,573	14,558,715
その他(純額)	2,232,415	2,289,786
有形固定資産合計	25,588,454	25,300,157
無形固定資産	648,509	799,593
投資その他の資産	1,629,508	1,757,623
固定資産合計	27,866,472	27,857,373
資産合計	36,959,385	39,176,605
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,488,633	2,579,991
短期借入金	8,049,200	9,375,580
未払法人税等	187,376	181,191
預り金	2,981,350	3,575,262
賞与引当金	195,896	72,108
その他	1,439,738	1,811,149
流動負債合計	15,342,195	17,595,283
固定負債		
長期借入金	6,269,022	5,912,449
役員退職慰労引当金	281,081	289,029
退職給付に係る負債	815,222	739,825
資産除去債務	26,077	26,488
その他	1,458,944	1,416,988
固定負債合計	8,850,348	8,384,781
負債合計	24,192,543	25,980,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,784	1,772,784
資本剰余金	1,627,940	1,627,940
利益剰余金	9,432,746	9,823,321
自己株式	△330,688	△330,688
株主資本合計	12,502,783	12,893,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,652	189,542
為替換算調整勘定	1,041	△724
退職給付に係る調整累計額	△26,541	△23,738
その他の包括利益累計額合計	135,151	165,078
少数株主持分	128,907	138,103
純資産合計	12,766,842	13,196,540
負債純資産合計	36,959,385	39,176,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益	24,240,022	26,246,484
営業原価	22,274,715	24,016,846
営業総利益	1,965,307	2,229,637
販売費及び一般管理費		
役員報酬	244,883	254,796
給料及び手当	359,609	351,028
賞与引当金繰入額	7,731	876
退職給付費用	8,952	15,096
役員退職慰労引当金繰入額	19,107	21,205
その他	623,248	682,203
販売費及び一般管理費合計	1,263,532	1,325,206
営業利益	701,774	904,430
営業外収益		
受取利息	1,693	1,310
受取配当金	21,479	22,968
為替差益	4,914	13,023
その他	44,217	55,272
営業外収益合計	72,304	92,575
営業外費用		
支払利息	100,660	109,546
その他	7,791	9,161
営業外費用合計	108,452	118,708
経常利益	665,626	878,297
特別利益		
固定資産売却益	9,820	23,147
投資有価証券売却益	91,246	2,665
特別利益合計	101,066	25,812
特別損失		
固定資産除売却損	1,997	3,404
調停解決金	-	30,000
減損損失	109,138	-
特別損失合計	111,135	33,404
税金等調整前四半期純利益	655,557	870,705
法人税等	337,089	360,705
少数株主損益調整前四半期純利益	318,467	509,999
少数株主利益	9,479	15,835
四半期純利益	308,988	494,164

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,467	509,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,739	28,889
為替換算調整勘定	1,762	△3,603
退職給付に係る調整額	-	2,820
その他の包括利益合計	△35,977	28,107
四半期包括利益	282,490	538,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,112	524,092
少数株主に係る四半期包括利益	10,378	14,014

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。